

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 2 年	児童文化 I ～2	飯塚 真穂	
サブタイトル	表現遊び（ダンス）の創作と指導	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
幼児向けの表現遊び（ダンス）を創作し、発表する力を身につける。 1. 前期の内容を踏まえて、幼児向けダンスの創作と指導方法を学ぶ。 2. 練習曲の習得を通して年齢に応じた難易度の違いを理解する。 3. 模擬指導を通して、指導の要点を学ぶ。 4. 模擬指導後に改善点や良い点について意見交換を行い、より良い指導について考える。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 幼児教育に対する情熱を持って、積極的に授業に参加する。 2. 幼児の手本となることを常に心がけ、専門職に関する技能及び実技を習得する。 3. グループ作業を通して豊かな人間性を身につけ、コミュニケーション力を高める。			
授 業 の 方 法			
少人数でのグループ創作を行い、模擬指導を実施する。 1. 基本的な動きの練習と合わせて、指導の際の声の掛け方、合図の出し方を習得。 2. グループ創作を行う。 3. 指導の要点を学び、模擬指導にむけて計画を立てる。 4. 保育者役と幼児役に分かれて模擬指導を実施し、意見交換を行う。 5. ノートには気づきや発見をまとめ、授業内容を整理・確認する。			
テキスト・教材・参考図書			
教 材 等：授業内で別途指示する。 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
実技と合わせて、課題ごとの提出物や小テスト、期末のレポート（ノート）の提出など総合的に評価する。 課題の詳細はその都度授業内で知らせる。		レポート	40%
		実技・作品など	40%
		小テスト	10%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. ホールでの授業は体操服を着用する。足元はすべらないように裸足またはダンスシューズ。 2. B 5 または A 4 サイズのノートを使用する。 3. 授業中のモバイル機器の使用は音楽再生のみ許可する。 長年にわたり現代舞踊を中心にダンサーとして活動し、作品創作や後進の育成を行ってきた経験を活かして、表現遊び（ダンス）の創作について指導します。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【ガイダンス】授業内容の確認、進め方の説明を行う 【創作と指導の要点】幼児向けの作品を創作する際の注意点と指導する際の注意点を学ぶ	前期の振り返り 創作と指導の知識
2 回	【基本練習と声掛けの練習①】声掛けのポイントを学び、動きながら合図を出す練習を行う 【グループ創作①】候補曲を相談。今後の作業の計画を立てる	目標に向かって具体的に 計画を立てる力
3 回	【基本練習と声掛けの練習②】声掛けの内容やタイミングを研究し、動きながら合図を出す練習を行う 【グループ創作②】動き作り、構成を考える	声掛けと動きのアイディアを 発想し実行する力
4 回	【基本練習と声掛けの練習③】声掛けの内容やタイミングを研究し、適切に合図を出せるようにする 【グループ創作③】動き作り、構成、隊形移動を考える。	声掛けの知識を活かす 力
5 回	【基本練習と声掛けの練習④】動きながら一人でも合図が出せるように練習する 【グループ創作④】年齢の特性を考慮しながら創作を進める	年齢による差異を作品に 反映させる力
6 回	【基本練習と声掛けの練習⑤】指導者が動かずに、合図を出せるように練習する 【グループ創作⑤】グループ作品を完成させる	対象年齢に相応しい作品を 完成させる力
7 回	【グループ創作中間発表】班ごとに作品発表を行う。 【グループ創作と模擬指導の準備①】模擬指導の要点を復習し、指導の計画を立てる。作品は随時修正する	指導の要点を理解し、計画 を立てる力
8 回	【グループ創作と模擬指導の準備②】グループ毎の模擬指導の計画に従って、指導の練習を行う	計画に基づき、必要な事柄を 準備する力
9 回	【グループ創作と模擬指導の準備③】模擬指導に向けて作品の最終修正を行う	学んだことを総合的に 実践する力
10 回	【模擬指導①】保育者役と幼児役に分かれて、模擬指導を行う。終了後に意見交換を行い、次に工夫すべき点を具体的に研究する	体験したことを元に気付きを 言葉にする力
11 回	【模擬指導②】1回目の気づきを活かして指導の工夫をし、役割を変えて指導と意見交換を行う	学んだことを次に生かして工夫を する力
12 回	【模擬指導③】②と同様に役割を変えて模擬指導を行う。より具体的な発見ができるよう積極的に参加する	より良い指導方法について 考え実践する力
13 回	【模擬指導④】③と同様に役割を変えて模擬指導を行う。意見交換においては、改善点や疑問点に対して具体的な解決策を提案できるようにする	具体的な解決策を提案する 力
14 回	【模擬指導⑤】④までの体験を活かし、模擬指導の総仕上げとしてこれまでの改善点を踏まえて指導を行う 【後期のまとめ】後期の授業を振り返り、模擬指導からの学びをまとめる。	保育の現場に立つという意識を強く 持ち、経験を活かす姿勢